

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6191052号
(P6191052)

(45) 発行日 平成29年9月6日(2017.9.6)

(24) 登録日 平成29年8月18日(2017.8.18)

(51) Int. Cl.		F I			
AO1N 63/02	(2006.01)	AO1N	63/02		P
AO1P 3/00	(2006.01)	AO1P	3/00		
C12N 1/20	(2006.01)	C12N	1/20		A
AO1C 1/06	(2006.01)	AO1C	1/06		Z

請求項の数 6 (全 24 頁)

(21) 出願番号	特願2013-192200 (P2013-192200)	(73) 特許権者	598096991
(22) 出願日	平成25年9月17日(2013.9.17)		学校法人東京農業大学
(65) 公開番号	特開2015-59090 (P2015-59090A)		東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号
(43) 公開日	平成27年3月30日(2015.3.30)	(74) 代理人	100122574
審査請求日	平成28年8月31日(2016.8.31)		弁理士 吉永 貴大
特許法第30条第2項適用	日本植物病理学会 平成25年度日本植物病理学会大会プログラム・講演要旨予稿集 第169頁 平成25年3月21日	(72) 発明者	篠原 弘亮
微生物の受託番号	MAFF 311647		東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京農業大学内
微生物の受託番号	MAFF 311648	(72) 発明者	根岸 寛光
			東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京農業大学内
		(72) 発明者	對馬 誠也
			茨城県つくば市並木3-21-3 ミックスガーデンつくば213号

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 イネ科植物用の細菌病防除剤および防除方法並びに該防除剤をコートした種子

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

非病原性パントエア アナナティス(Pantoea ananatis)細菌の培養液、培養上清液又は菌体懸濁液からなる群から選択される少なくとも1種を含む、イネ苗立枯細菌病を防除するための細菌病防除剤であって、

前記パントエア アナナティス(Pantoea ananatis)細菌が、パントエア アナナティス(Pantoea ananatis) R31株(寄託番号:MAFF311647)又はR32株(寄託番号:MAFF311648)である、イネ苗立枯細菌病を防除するための細菌病防除剤。

【請求項2】

請求項1に記載の細菌病防除剤をイネ科植物の種子に付着させる防除処理工程を有するイネ苗立枯細菌病の防除方法。

【請求項3】

前記防除処理工程が、前記細菌病防除剤に前記種子を浸漬する工程である、請求項2に記載のイネ苗立枯細菌病の防除方法。

【請求項4】

前記種子浸漬工程における浸漬処理温度が、10~30である、請求項3に記載のイネ苗立枯細菌病の防除方法。

【請求項5】

請求項1に記載の細菌病防除剤をイネ科植物の種子にコートした種子。